

子宮頸がんワクチンについて

岩手県立釜石病院産婦人科応援医師（北上済生会病院 院長）

福島 明 宗



皆さんは「子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）」をご存じでしょうか？ このワクチンは、子宮頸がんの原因となるウイルス「ヒトパピローマウイルス（HPV）」の感染を予防するためのワクチンです。このウイルスに感染すると、一部の人に子宮頸がんやその前段階である各種の異常が起こることがあります。子宮頸がんは、日本では毎年約一万人の女性が罹患し、約三千人が亡くなっています。このがんは予防できる数少ないがんの一つで、子宮頸がんワクチンを接種することで、多くの場合感染を防ぐことができます。特に若い世代で接種することで、その効果が高まるとされています。このワクチンは、子宮頸がんを引き起こすHPVの型の多くをカバーします。各種研究によりますと、接種を受けた女性の間では子宮頸がんのリスクが大幅に低下しています。またワクチンの安全性も長期間にわたって確認されています。

このワクチンは、小学6年生から高校1年生までの女性が公費負担により無料で接種できます。また、過去に積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種機会を逃した次の方々も、令和7年3月31日までの期間限定で、公費負担により接種を受けることができます。（対象となるためには、条件がありますので、市に問い合わせください）

◆対象者：平成9年度（1997年4月2日）から平成19年度（2008年4月1日）生まれの女性

それ以外の大人の女性も任意の接種が可能ですが、費用は自己負担になりますので、詳しい費用については、接種を希望する医療機関に直接お問い合わせください。

ワクチン接種を希望される場合は、基本的には市内の指定医療機関での接種となります。具体的な接種場所や予約方法については、釜石市の公式ウェブサイトや釜石市健康推進課にご確認ください。

以前、このワクチンの副作用について話題になったことがあります。どのワクチンにも副作用がまれにあります。しかしながらそのほとんどが一時的なもので、腕の痛みや腫れ、発熱など軽度なものが中心であり、重い副作用のリスクは非常に低いとされています。なお、体調の変化や気になる症状が現れた場合は、まず接種を行った医療機関の医師にご相談ください。

子宮頸がんワクチンは、未来の健康を守るための大切な予防策です。不安や疑問があれば、医師や専門家に相談し、正しい情報を元に、接種を検討いただければ幸いです。以下に各種相談窓口をご紹介しますので、これらの窓口を活用し、疑問や不安を解消いただければと思います。

相談内容・相談先	相談方法・受付時間
医療や救済に関すること 岩手県保健福祉部 医療政策室	電話番号：019-629-5417 受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 （土・日曜日、祝日、年末年始を除く）
学校生活に関すること 岩手県教育委員会事務局 保健体育課	電話番号：019-629-6188 受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 （土・日曜日、祝日、年末年始を除く）
厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口	電話番号：0120-469-283 受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）